

# CASBEE® 京都-新築

# 標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE京都-新築 (2010年版) | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2010(v.1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)西院月双町計画	階数	地上7F
建設地	京都市右京区西院月双町84番地	構造	RC造
用途地域	工業地域、準防火地域、20m第5種高層住居専用地域	平均居住人員	XX 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年2月 予定	評価の実施日	2013年9月11日
敷地面積	2,743.42 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社東洋設計事務所
建築面積	1,180.32 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	6,097.77 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社東洋設計事務所



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.9** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆

■建設 ■修繕・更新・解体 □通用 ○オンサイト □オフサイト

①参照値 100%  
②建築物の取組み 78%  
③上記+②以外の 78%  
④上記+ 78%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア= 2.9

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.9

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.9

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.8

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア= 2.8

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.6

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.8

3 設計上の配慮事項		
総合	地域特性に配慮し、敷地内の植栽計画に工夫し、生活環境を考慮した計画とした。	
その他	特になし	
Q1 室内環境	快適に生活する上で必要とされる音・光視環境について配慮した。 ☆☆の規格に適合した建築材料を使用した。	Q2 サービス性能 京都市建築物等のバリアフリーの促進に関する条例に準ずる配慮を行った。
Q3 室外環境(敷地内)	敷地境界部分について重点的に緑化を行い、良好な環境を形成するために配慮を行った。	
LR1 エネルギー	特になし	LR2 資源・マテリアル 特になし
LR3 敷地外環境	敷地境界部分について重点的に緑化を行うことで、敷地外環境との調和を図った。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される